

様式 - A

用語	警戒避難基準雨量	実効雨量	連続雨量	スネーク曲線
よみ	けいかいひなんき じゅんりょう	じっこうりょう	れんぞくりょう	すねーくきょくせん
解説	<p>過去の土砂災害発生状況をもとに土砂災害に対する警戒避難行動の基準となる雨量を設定したもの。市町村が避難の呼びかけ等の防災判断の際に、この情報を利用する。警戒避難基準雨量は、長期的影響を考慮した降雨指標と、短時間の雨量の強さを考慮した指標などを組み合わせて設定する。</p> <p>警戒避難基準雨量には、市町村の防災担当者が警戒行動をおこなう際の目安とする警戒基準[WL: Warning Line]、市町村が避難の呼びかけ等を行う際の目安となる避難基準[EL: Evacuation Line]、過去に重大な土砂災害が発生したときと同じ程度に達していることを示す危険基準[CL: Critical Line]がある。</p> <div data-bbox="587 884 1332 1411" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">警戒避難基準雨量の設定と利用のイメージ図</p> </div>			
用例 (主に活用される場面)	地震後の二次災害を防止するため、地震後の土砂災害に対する警戒避難基準雨量を設定した。その結果、地震前の警戒避難基準雨量の各基準が下げられた。			
関連用語・類似用語	気象庁が使う「総雨量」も、降り始めからの雨量の総和である。ただし、ひとつの低気圧や台風等による雨量の合計値である。 土壌雨量指数(関連用語)			
注意すべきポイント (防災上の注意すべき点)	設定された警戒基準(WL)や避難基準(EL)に雨量が達した場合、防災担当者はおのこの警戒行動や避難行動を取ることが重要である。 また、雨が弱くなり基準線を下回ったからといって、土砂災害が発生する危険性が完全になくなったというわけではないことに注意する必要がある。 なお、今後とも土壌雨量指数とスネーク曲線の精度を高める必要がある。			